

「香港中文大学サマースクール参加報告書」

京都大学経済学部1年 佐保百合子

今回は、2ヶ月という長い大学の夏休みを最大限活用したいと考え、大学での第二外国語で選択し興味を持っていた中国語を学習しようと本プログラムへの参加を決めた。中国語学習を始めてから4ヶ月しかたっていなかったが、上から二つ目のクラスに入り、大変苦労した。授業が全て中国語であり、クラスが少人数だったこともあり積極的な発言をもとめられた点が特に自分にとって辛かった。授業が始まった当初は、中国語が全く理解出来ず、授業が苦痛に感じた。しかし、クラスの皆と寮で共に生活するうちに打ち解け、クラス自体が仲良くなったことで発言しやすい良い雰囲気になり、中国語学習を楽しめるようになった。また、毎日授業で中国語を習い練習するうちに先生の話が理解出来るようになり、最後の試験では口頭試問でも先生と中国語でしっかりと受け答え出来るまでに成長することが出来た。三週間中国語漬けの環境に身を置くことで、集中的に中国語を学習したいという当初の目的を達成することが出来、とても充実した3週間を送れたように思う。しかし三週間という期間では、自分の表現したいことを何の問題もなく表現出来る程の中国語能力を身につけることは出来なかったことが悔やまれる。またこの三週間の間は、殆ど毎日の様に授業後に香港の様々な場所を訪れ、文化や人々に触れることで、香港という土地の魅力を最大限楽しむことができた。特に、アジア経済の中心地として経済的にも発展しているイメージを香港に対して抱いていたが、実はコンクリートむき出しの古いマンションが立ち並んでいたり、昔ながらの商店街が至る所にあるなど、新旧の文化が混在しており、不思議な魅力を感じた。

留学を通して中国語しか話せない友人とたくさん知り合ったことで、さらに中国語を学び自由に話せるようになりたいと強く思い、期待していたよりもずっと充実した楽しい留学経験を送ることが出来て本当に良かったと思う。今回の体験は、中国語能力の向上以上に、中国語を更に学習したいというモチベーションや、中国への関心を高めることができた点で自分にとっての貴重な財産になった。また、将来コンサルティング系の職業につくことを希望しているが、中国語を実用レベルにまで高めることで、日本中国間の交流を深め共に発展するための一助になりたいと改めて思うようになった。